

2020-21 年度 RI テーマ：ロータリーは機会の扉を開く
 ガバナー方針：行動するロータリアン！世界で何かよいことをしよう、TOGETHER!
 クラブ方針：支えよう「我がクラブ」



空太くん

名古屋空港ロータリークラブ

名古屋市東区葵 3-16-16 メルパルク内
 [TEL] 052-930-6205 [FAX] 052-930-6206
 E-Mail: rongoapt@mta.biglobe.ne.jp
 会長/ 原田 好展
 幹事/ 柴田 和宏
 公共イメージ向上委員長/ 梅本 昌裕
 例会日/毎週月曜日 12:30~13:30
 例会場/ホテルメルパルク名古屋

第 2051 回例会

2020 年 10 月 26 日 (月) 第 10 回

- 点 鐘 会長 原田 好展 君
- 例会行事 米山月間卓話 張 申童さん
「私の留学生活」
- ゲ ス ト 米山奨学生 張 申童さん
- 司 会 入谷 宏典 SAA 委員

会長挨拶

名古屋空港ロータリークラブ会長 原田 好展君



今月は、経済と地域社会の発展・米山月間です。少し、ロータリー米山記念奨学会の話をしていただきます。米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952 年東京 RC が発表したのは、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する事業「米山募金」の構想でした。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したいという、当時のロータリアンたちの強い願いがあったと言われていいます。やがてそれは、日本全国のロータリークラブの共同事業として発展し、「将来母国と日本との懸橋となって、国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学する事を目的とする」ロータリー米山記念奨学会が設立されました。米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習

慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となる事が期待されています。全国のロータリアンの寄付金を財源として、勉強、研究を志して日本に在留している外国人留学生に奨学金を支給しています。これ迄支援した奨学生数は約 21023 人、その出身国は、世界 129 の国と地域に及びます。国内では民間最大の国際奨学事業となっています。また、奨学金による経済的支援だけでなく、奨学生 1 人に対して世話クラブから一人がカウンセラーとなり、奨学生の相談役となっています。世話クラブで行われる事は、①米山奨学生は月に 1 回例会へ出席②奨学金の受け渡し③例会での奨学生のスピーチ、その他 RC の親睦・奉仕活動への参加となっています。今週の金曜日に第 1 回目の新会員の勉強会を予定していますが、山北カウンセラーからの提案で、その会に張さんを招待しています。新会員と一緒にロータリーについて勉強してもらい親睦を計って頂きたいと思っています。また、この後張さんには、卓話をして頂きますのでよろしくお願い致します。

委員会報告

●出席報告 (照井 通夫出席委員)

本日の例会					
会員数	51	出席率	87.50		
出席者	出席義務者 24	欠席者	出席義務者 6		
	出席免除者 18	出席者	出席免除者 3		
	出席者計 42	欠席者計	欠席者計 9		

●ニコニコボックス報告 (國田武二郎委員)

コロナに負けるな！今日も明るく元気で。

- 山田 幹雄 君
- 張 申童さん、卓話宜しくお願いします。
- 原田 好展 君
- 持ち出し例会実現に感謝です。
- 柴田 和宏 君
- 本日、会計報告させていただきます。
- 稲熊 正徳 君
- 張さん、卓話お願いします。
- 山北 秀和 君

今日も元気で！

田邊 雅彦 君	近藤 和彦 君	高山 光雄 君
内海 辰巳 君	石川 良治 君	真城 壮司 君
武田 英昭 君	稲吉 將秀 君	川口 直也 君
井上 政秋 君	串田 正克 君	國田武二郎 君
山内 佳紀 君	伊東 由之 君	阿萬 裕子 君
三治 明 君	北園 守生 君	金井 和治 君
中島 俊朗 君	照井 通夫 君	梅本 昌裕 君
竹尾 悟 君	入谷 宏典 君	市川 孝 君
堀場 竜司 君	波多野 真 君	安江 寛二 君
太田 哲郎 君	中林 正人 君	栗田 和典 君
安川 正勝 君		

御協力ありがとうございました。

本日の協力	36名	53,000円
本年度の協力累計		506,000円

卓話

米山記念奨学生 張 申童さん



皆様こんにちは。張申童と申します。中国の天津からまいりました。名古屋大学人文学研究科の文化動態学の博士課程に在籍中で、日本の華僑社会について研究しています。今年、ロータリー米山奨学生になって、本当に嬉しくて、心から感謝いたします。

まず、自分の故郷と家族を紹介します。天津は華北平原を位置し、九つの川の支流を合流するところです。東は渤海を、北に燕山を臨む、名古屋と同じ工業を重んじる都市です。天津は中国で唯一な発祥記録があるところです。その歴史は明朝に遡る。1400年、永楽帝が河を渡った場所を意味する天津の地名が初めて登場した。そして、1404年、軍事基地としての衛を設立された。今年ちょうど620周年です。海河にかかった永楽橋に設置された観覧車は天津のアイという名を呼ばれた。直径110メートル、地上約120メートルで35階建てのビルに相当する。天津は昔租界地になった歴史があって、いろいろな国の建築が残っていた。古くから港町なので、商人と街頭で芸を演じて生計を立てる人が多かった。それゆえに、天津の飲食が多種多様で、そして演芸（落語、京劇などの地方劇）の故郷という美称がある。飲食といえば、天津三絶がある。一つは十八街のよりより、コウブリパウズ（肉まん）、1858年に創立された、中国で最も古いブランドの一つである。もう一つは耳の穴という名をつけた、もちにあんを入れてあげたもの、揚げパンに似た食品です。

私は休みの時、書道や絵を描くことが好きです。そして天津の相声（日本の漫才に似ているもの）に対しても興味があります。

次に、私の家族を紹介します。私の家族は3人で、父母と私です。両親は共に明るくて、優しい人です。

3年前、名古屋に来てから両親の負担にならないために、アルバイトしながら研究を行っております。生活費は自分の力で支えておりますが、余裕はなかったです。両親は私のことずっと心配しています。今年、奨学生になって、奨学金をいただくことになって、私の留学生活に本当に助かりまして、両親も少し安心になり、本当に感謝しております。

私は子供の時から日本のアニメを見てました。コナンやデジモン、中学生になってから日本のドラマも常にテレビで流しまして、社会意義が高い、ストーリーが面白くて、日本のドラマに対する第一印象です。

高校に入り、いろいろな日本人作家の小説を読んで、日本文化への興味がさらに深くになりました。そういう理由で、大学は天津師範大学の日本語学科を選びました。大学3年生の時、交換留学生として、長崎に一年居住していました。異なる文化背景を持つ人々と意思疎通を図り、物事を進め、コミュニケーション能力は確実に向上した。卓球部の部活とメイフェスティバルなどの地域活動に参加し、地元の人たちと交流ができ、多文化交流に対する認識を深めた。大学卒業後、日本留学を通じて自分の興味のあるテーマの視野を広げ、日中文化交流に関する研究を続けたいと思った。

今、研究しているテーマは日本の春節祭における異文化交流である。今日は名古屋春節祭を例として紹介します。本来華僑は主に中華街を中心として定住し、三縁を基にして、華僑社会を構築した。名古屋の場合は、1980年代から、数多くの中国人新移民は定住し始めて、中華街のような大きな集住地がないです。それゆえに華僑間の交流も少なかった状態です。春節祭は春節を基にして日本の祭文化の要素を取り入れ、創出された祭礼である。このイベントは華僑社会の一体化を促進し、華僑社会と日本社会を連結させる効果がある。

少しだけ、文化シンボルとして獅子舞というものを紹介したいです。

中国伝統雑技としての獅子舞は南方獅子舞と北方獅子舞の二種類がある。日本の老華僑社会の中には中国南部出身者が多いので、伝承されたのは主に南方獅子舞である。特に、広東出身の人は開業、関帝誕と祝典祭祀の際獅子舞を演じる習俗がある。日本の獅子舞は一人一匹の獅子を演じるタイプや二人そして数十人ほどで一匹を演じるむかねて獅子があります。中国の場合は獅子頭とまえあしに一人、後ろ足と背中に一人そして指揮と楽団で構成されています。

今後はせっかく奨学生として選ばれて、積極的にロータリーの交流活動に参加し、皆様や他の奨学生と交流したいです。そして、地域社会の一員として奉仕活動に貢献したいと考えてます。名古屋大学卒業したら、故郷に戻り大学教職につき、研究活動と人材育成に取り込みたい。また、日本での留学経験を活かして、日中間、国際間大学との共同研究や文化交流を促進し、多文化理解と学術研究を推進していきたいです。